

幼児における様々なエージェントの知覚能力の認識

○中道圭人
(静岡大学教育学部)

【目的】 子ども達は直接的に観察できないエージェント・存在についての様々な概念を持つ (e.g. Harris & Koening, 2006)。その観察不可能なエージェントの1つに神様がいます。欧米の研究 (e.g. Barrett et al., 2001; Lane et al., 2010; Richert & Barrett, 2005) では、幼児でさえヒトと神様を区別し、神様の特性に関する様々な概念を持つことが示されている。中道 (2011, 印刷中) は、それら欧米の研究知見と類似した神様概念を日本の幼児も持つ可能性を実験的に示している。しかし、神様概念自体が宗教・文化により異なることを踏まえると、日本の幼児の神様概念に関する研究知見のさらなる蓄積が必要であろう。そこで本研究では、Richert & Barrett (2005) を参考に、神様を含めた様々なエージェントの知覚能力 (視覚・嗅覚・聴覚) に関する日本人幼児の認識を検討していく。

【方法】 **参加児**：公立保育所の年少児 20 名 (女 10 ; $M=3:11$, 範囲=3:6-4:3), 年中児 20 名 (女 10 ; $M=4:11$, 範囲=4:6-5:3), 年長児 20 名 (女 10 ; $M=5:10$, 範囲=5:5-6:4)。

課題・手続き：参加児は個別に 3 つの課題 (視覚・嗅覚・聴覚) を実施された。視覚課題では、まず 6m 離れた位置にある絵 (直径 2 mm の ⊙) が見えるかを参加児に尋ねた。参加児の回答後、絵を確認させた。その後、あるエージェント (他児, 母親, 神様, 優れた知覚の動物) は参加児と同じ離れた場所から絵が見えるか (他者知覚質問) を尋ねた。嗅覚課題では、まず袋の中身 (容器に入った甘い匂いの消しゴム) の匂いが分かるかを参加児に尋ねた。参加児の回答後、中身の匂いを確認させた。その後、他者知覚質問 (袋・容器を開けずに匂いがわかるか) を尋ねた。聴覚課題では、まず 2m 程離れた位置にある IC レコーダーから出ている小さい音声聞こえるかを参加児に尋ねた。参加児の回答後、IC レコーダーの音声を確認させた。その後、他者知覚質問 (離れた場所から音声聞こえるか) を尋ねた。優れた知覚を持つ動物として、視覚課題ではワシ, 嗅覚課題では犬, 聴覚課題では猫が登場した。

【結果・考察】 各課題の質問に対し、エージェントがある事物を知覚できる (絵が見える, 匂いが分かる, 音声聞こえる) と回答した場合に 1 点を、それ以外の場合に 0 点を与え、エージェント別の合計 (以下、知覚得点) を算出した ($Max=3$)。年齢・エージェント別の得点を Table 1 に示す。

年齢・エージェントによる知覚得点の違いを検討するため、年齢×エージェントの分散分析を行った。その結果、エージェントの主効果 ($F(3, 171)=13.56, p<.01, \eta_p^2=.19$) が有意で、神様・優れた知覚の動物の得点が最も高く、次いで母親で、他児の得点が最も低かった。また、年齢×エージェント ($F(6, 171)=5.70, p<.01, \eta_p^2=.17$) の交互作用が有意であった。エージェント別に各年齢の得点を比較したところ、他児 ($F(2, 57)=10.17, p<.01, \eta_p^2=.26$), 母親 ($F(2, 57)=3.50, p<.05, \eta_p^2=.11$), 神様 ($F(2, 57)=4.76, p<.05, \eta_p^2=.14$) の単純主効果がそれぞれ有意であった。多重比較によると、他児の得点は年少児・年中児より年長児で低く、母親の得点は年少児より年長児で低く、神様の得点は年少児・年中児より年長児で高かった ($ps<.05$)。

次に、各エージェントの知覚得点のチャンスレベル (=1.5) との違いを検討するため、1 サンプルの t 検定を行った。その結果、年少児では母親 ($t(19)=1.93, p<.10, r=.41$) および優れた知覚の動物 ($t(19)=2.93, p<.01, r=.56$) の得点が、年中児では優れた知覚の動物 ($t(19)=2.77, p<.05, r=.54$) の得点がチャンスレベルより高かった。年長児では、他児 ($t(19)=8.22, p<.01, r=.88$) および母親 ($t(19)=1.79, p<.10, r=.38$) の得点がチャンスレベルより低く、神様 ($t(19)=5.34, p<.01, r=.78$) および優れた知覚の動物 ($t(19)=2.30, p<.05, r=.47$) の得点がチャンスレベルより高かった。

これらの結果は、欧米の研究知見と同様、日本でも 5 歳頃からヒトと神様の知覚能力を区別していることや、3-4 歳児であってもあるエージェントの知覚能力の有能性を認識していることを示している。

Table 1 年齢・エージェント別の知覚得点 (括弧内はSD)

	他児	母親	神様	優れた動物	全体
年少児	1.70 (1.03)	1.80 (0.70)	1.75 (0.91)	1.95 (0.69)	1.80 (0.39)
年中児	1.20 (1.06)	1.70 (0.92)	1.60 (0.94)	2.05 (0.89)	1.64 (0.46)
年長児	0.40 (0.60)	1.15 (0.88)	2.40 (0.75)	2.00 (0.97)	1.49 (0.48)
全体	1.10 (1.05)	1.55 (0.87)	1.92 (0.93)	2.00 (0.84)	1.64 (0.46)